

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)国立循環器病研究センター	階数	地上8F
建設地	大阪府摂津市千里丘新町711番の	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	227 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	学校,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年12月26日
敷地面積	7,000 m <sup>2</sup>	作成者	小田原 元
建築面積	1,553 m <sup>2</sup>	確認日	2017年12月26日
延床面積	6,873 m <sup>2</sup>	確認者	小田原 元



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆ 80%☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 184 230 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
省エネルギー・省資源に優れた設備を採用し、環境に優しい宿舎にするとともに、メンテナンス性が高く、ライフサイクルCO <sub>2</sub> の削減に寄与する建物とした。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
開口部サッシには複層ガラスを採用し、断熱性能が優れた建築材料を採用し、空調負荷の少ない建物とした。	ゆとりある天井高を確保し、また壁式構造の採用により、柱型の無い建物とすることでフレキシビリティな住居空間に配慮した。	敷地周囲に緑地を配し、周辺の住宅地に配慮した緑化空間を形成した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
高効率給湯器(エコジョーズ)や節湯型水栓、LED照明の採用など、エネルギーの削減を図った。	節水型便器の採用やタイマー・センサー式の照明の採用など、地球環境に配慮した建物とした。	省エネルギー性、メンテナンス性に優れた材料を採用し、運用時のライフサイクルCO <sub>2</sub> の削減に努めた。建物周囲に配する照明は庭園灯とするなど、光害への配慮を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0126

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)国立循環器病研究センター職員宿舎等建設工事					
	建設地	大阪府摂津市千里丘新町711番の一部					
	用途/区分	集合住宅 学校					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					A	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	

【評価項目】			
省エネルギー対策		① CO2削減	
省エネルギー対策		② 省エネ対策	
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.2	4
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊 4.0
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	5.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	2.9
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	2.2
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	4.0	
その他			
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項	
特に配慮した事項			